**春牧集落**

世帯数470を超え、屋久島で3番目に大きい集落春牧は、島の南東岸にあります。ヤクスギランドがあるレクリエーションの森や、縄文杉に続く登山道への入口としてよく知られているだけではありません。この海岸沿いの集落に長期滞在する旅行者もたっぷり楽しめます。本物の発掘現場で縄文時代（紀元前1万年～紀元前300年）の集落に思いを馳せたら、サンゴ礁の潮だまり（タイドプール）が点在する海辺で探検するのもいいでしょう。盛久神社の境内にある樹齢100年はある絡み合ったアコウの木も人気のスポットです。この「夫婦」（めおと）のような根はお互いに寄り添い、上空では青々と茂る枝が絡みついて支え合っています。山野草が大好きな人は、春牧集落が出版したハンドブックを是非1冊手に入れてください。地元の店で販売しています。花の色や咲く場所、花が満開になる季節ごとに見やすくまとめられています。